

(別 紙)

平成24年度動物愛護管理功労者大臣表彰の受賞者

{ 個人 4件
団体 1件 }

○ 個人

受賞者	おがわ かずお 小川 和雄 (75歳) 新潟県 (前 社団法人新潟県動物愛護協会会長)
主要功績	○ 平成12年5月に新潟県動物愛護協会会長に就任後、新潟県内の動物愛護団体をまとめ上げるなど新潟県内の動物愛護の推進に尽力してきた。 ○ 平成16年の新潟・福島豪雨と中越大震災、平成19年の中越沖地震、平成23年の東日本大震災において、動物救済本部の一員として協会を代表し、被災動物救済のため尽力した。

受賞者	かわべ ひろこ 河邊 弘子 (65歳) 三重県 (現 特定非営利活動法人人と動物との共生をめざす会理事長)
主要功績	○ 平成12年5月には「特定非営利活動法人 人と動物との共生をめざす会」を立ち上げ、当法人の理事長として長きにわたり動物への人道的配慮及び動物福祉の思想についての普及啓発活動を献身的に行っている。 ○ 平成20年12月からは三重県動物愛護管理推進協議会の副会長として、三重県の動物愛護管理事業の推進に尽力している。 特に、全国の自治体では初の試みである県庁内での動物介在活動等を三重県と協働で実施し、その後、県内の地域機関にまでその活動を広げるなど、動物愛護、適正飼養等の普及啓発について、他の模範となる業績を上げた。

受賞者	さがら なおみ 佐良 直美 (67歳) 東京都 (現 優良家庭犬普及協会専務理事)
主要功績	○ 昭和41年から、個人として捨て犬・猫を保護し、自宅で飼養するとともに、当時の日本動物福祉協会湘南支部の活動を支援してきた。 ○ 平成5年、家庭犬しつけ教室「アニマルファンシィアーズクラブ」を設立。体罰を使わない新しいしつけ方や飼い主との絆づくりの方法の普及に貢献している。 ○ 平成6年10月から優良家庭犬普及協会の設立に関わり、人とコンパニオンアニマルの共存する社会の実現に尽力している。

受賞者	<p>さるた かつふみ 猿田 勝文 (74歳) 長野県 (現 長野県動物愛護会副会長)</p>
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和57年長野県動物愛護会大北支部設立から会の運営に積極的に関与し、会の理事として支部組織をまとめている。 ○ 平成11年長野県動物愛護会副会長に就任し、現在まで県の組織の中核として、県動物愛護フェスティバルやシンポジウムの開催に強いリーダーシップを発揮するとともに、動物愛護思想の啓発に尽力している。

○ 団体

受賞者	公益社団法人茨城県獣医師会
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和56年から動物愛護に関する事業を開始し、昭和58年9月動物愛護の観点から茨城県初の動物霊園「慈苑」を設立し、運営を開始。 ○ 「ペット無料健康相談事業」、「動物ふれあい教室」、「飼い犬のしつけ方教室」の開催、繁殖制限措置事業、マイクロチップの普及事業などの各種取組を通じて、茨城県の動物愛護管理行政の推進に尽力している。

注) 受賞者の年齢は、平成24年9月26日現在。